

## 原子力新法人の事業の方向性及び運営の仕組みについて (素案の骨子案)

平成14年10月22日

- ・原子力委員会では、本年4月2日、原子力二法人統合に向けた基本的考え方を取りまとめ、以下のような方向性を示した。

### < 基本的考え方 >

- 我が国の原子力研究開発において中心的役割を担うことが必要
  - 各々の研究開発の性質に応じた適切な組織構成や運営が不可欠
  - 「先進性、一体性及び総合性」を備えた機関として役割を果たしていく
  - 特殊法人改革の趣旨を踏まえた、業務の重点化・効率化も重要
- ・現在、この基本的考え方を踏まえて、関係者間で新法人設立に向けた具体的検討が進められているが、**本方針は、基本的考え方を補完するものとして、それら具体的検討において必要となる各分野の事業の方向性などをとりまとめることとする。**
  - ・なお、本方針は、所管省等からの意見も反映した後、最終的にとりまとめるものとする。

## 1. 事業の方向性、プライオリティ

- ・基本的考え方において、分野毎に新法人の役割について提示しているが、本方針では、政策上の重要性や関係機関の存在などを考慮し、**新法人の役割をより一層明確化するとともに、その役割に応じた事業の重点化の考え方を提示する。**なお、その検討に際して用いた視点は下記の通り。

< 視点1 > 政策上の重要性及び関係機関の存在を考慮した**新法人の位置付けを明確にし、事業の方向性を定める。**

主導的立場か      一翼を担う立場か      補助的立場か  
(No.1)              (One of Them)      (Supporter)

< 視点2 > 更に**規模的、性質的に他関係機関による代替が可能か否かを検討し、一層のスリム化**(その資源は重点化項目に配分されることになる)

- ・本方針で提示した分野毎の考え方に基づき、関係者は、個別事業毎に具体的検討を行い、より詳細な方向性を定め、業務の最大限の重点化・効率化が図られることを期待する。

#### ( 1 ) 核分裂 ( 原子燃料サイクル含む )

##### < 基本的考え方 >

統合における積極的效果を期待。研究開発を積極的に実施

#### ( 2 ) 核融合

##### < 基本的考え方 >

ITER 計画進捗を踏まえ役割検討。相応しい体制を構築

#### ( 3 ) 加速器

##### < 基本的考え方 >

諸機関との役割分担を踏まえつつ、重要な役割を担う

#### ( 4 ) 放射線利用

##### < 基本的考え方 >

産業創生を目指し産業界との連携を期待。役割検討必要

## 2 . 運営の仕組み

- ・原子力委員会は、現在の二法人に対しては法に基づき人事、予算へ関与しているが、新法人への原子力委員会の関与の在り方などについてとりまとめる。

#### ( 1 ) 新法人の運営の仕組み

##### < 基本的考え方 >

バランスの取れた運営、研究評価充実、透明性向上他

#### ( 2 ) 原子力委員会の関与

##### < 基本的考え方 >     -

以 上